地域おこし協力隊 活動状況報告

こんにちは！地域おこし協力隊うらほろスタイル・学校と地域連携担当の見山夕莉です。今年度から協力隊として着任し早いものでもう３か月です。少しずつ仕事や暮らしに慣れてきました。

私が初めて取り組んだ大きな仕事は、「オンライン教室」でした。学校の休校に伴い、小中高生に何かできることはないか、という思いで始まりました。

私は小学生に向けた内容の担当をし、お楽しみ会、リコーダーコンサート、アマビエを描く創作ワークショップ、科学実験、マスク作り、料理教室、読み聞かせ、応援団体験の９つの内容を実施しました。そのどれもが地域の方に講師になっていただきました。また、小中高生を対象に、朝７時からラジオ体操を行いました。

中高生対象プログラムにはビブリオバトル、運動教室などがありました。協力隊の古賀さんが担当していて、詳しい内容や様子はフェイスブックや前月号の広報誌などでご報告していますので、そちらもご覧いただけたら幸いです。

レストランURATIEの佐藤さんは小学生対象の料理教室で講師になってくれました。「せっかくプロが教えるなら、簡単だけど本格的なものがいいんじゃないか」と「油淋鶏（ユーリンチー）」の作り方を教えてくれました。図書館ボランティア「ぐりとぐら」のみなさんは、参加してくれる子どもたちに合わせた絵本を選んで、大人も聞き入ってしまう読み聞かせのほか、手遊びも紹介してくださいました。マスク作りには浦幌部の高校生、お楽しみ会には北海道教育大学釧路校の大学生のみなさんが、子どもたちに楽しんでもらえるようにたくさん準備してくれました。地域おこし協力隊のメンバーも、自身の特技や仕事を生かした内容を用意してくれました。５月22日（金）の朝に実施したラジオ体操には水澤町長も参加してくださり、子どもたちへのメッセージもいただきました。今回オンライン教室を実施して、子どもたちの笑顔を見ることができ、「楽しかった」「みんなの顔が見えてよかった」といった感想が聞けたこと、講師の皆さんからも楽しかったと言ってもらえたことが嬉しかったです。

料理教室では動画を見ながら教えてくれました。浦幌町のホームページからご覧になれます。

講師の皆さんは自宅で過ごす子どもたちのために、様々な工夫を凝らしてくれましたし、オンライン教室に協力してくれました。またラジオ体操は地域の方もたくさん参加してくださり、多い日には子どもたちと合わせて46人も来てくれました。子どもたちの笑顔と、子どもたちへの想いが熱く、優しい大人の方々の姿を見て胸が熱くなりました。

私は「子どもたちのために頑張る浦幌町の地域の人」になることが目標でした。そんな私にとっては、参加してくれた皆さんがとても輝いて見えました。まだ未熟な私ですが、参加してくださった皆さんのような輝く地域の人になりたいです。

オンライン教室　ラジオ体操での様子

地域おこし協力隊　見山　夕莉（みやま　ゆり） うらほろスタイル・学校と地域連携担当

最近の楽しみは、下校途中の子どもたちと話すことです。教育実習や通楽（学）合宿で出会った子どもたちとも再会できました。

●地域おこし協力隊の活動を紹介する隊員紹介 Facebookページ
☆北海道浦幌町地域おこし協力隊　⇒　https://www.facebook.com/urahoro.chiikiokoshi